

品名	酸性フッ化アンモニウムを含む混合製剤（粉体）	国連番号	1727
		指針番号	154

該 当 法 規 ・ 危 険 有 害 性

消 防 法						毒物及び劇物取締法			高圧ガス保安法		火薬類取締法			道路法	
類別						品名 (法別表)	毒物	劇物	特定毒物	一般高圧ガス	液化石油ガス	火薬	爆薬	火工品	施行令第19条の12,13に該当
第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類										
							●							●	
特 性	危 険 性			有 害 性				環 境 汚 染 性		性 状					
	禁水性	爆発性	可燃性	有害ガス発生			目・皮膚に触れると危険	河川への流入注意	固体	液体	気体	水溶性			
				常温	加熱時 火災時	水に 接触									
	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			

事故発生時の応急措置

- ① 車を安全な場所に移動する。（人家や人ごみを避け、できるだけ交通の障害にならない場所に移動し、エンジンを停止し、車止めをする。）
- ② 事故の発生を大声で告げ、下記事項を消防署及び警察署に通報し、人を風上に避難させる。
- ③ 保護具を着用し、飛散防止を行う。

緊急通報

1 1 9（消防署）

1 1 0（警察署）

高速道路の非常電話

【緊急通報例】

1. いつ ○○時○○分頃
2. どこで ○○市○○地区（国・県・市）道○○線○○付近で
3. なにが 「酸性フッ化アンモニウムを含む混合製剤（粉体）（劇物）」が
4. どうした 飛散しています または 飛散して火災になっています
5. ケガ人は ケガ人がいます（救急車をお願いします） ケガ人はいません
6. 私の名前は ○○○○運送会社 ○○○○です

緊急連絡

（特に休日・夜間に確実に連絡が取れる部署の電話番号を記入する）

荷主会社	
住 所	
電 話	平日・昼間 平日・夜間 休日・昼間 休日・夜間

荷主会社	
住 所	
電 話	平日・昼間 平日・夜間 休日・昼間 休日・夜間

品名	酸性フッ化アンモニウムを含む混合製剤（粉体）	国連番号	1727
		指針番号	154

災 害 拡 大 防 止 措 置

特記事項	処理剤	中和剤：消石灰水溶液
------	-----	------------

- ① 火災時またはほかの薬品との接触で発生するガスは有毒である。
 - ② 製剤は酸性で金属、ガラス、コンクリートを腐食する。
 - ③ 皮膚との接触を避ける。溶融物に接触すると皮膚や眼に激しい炎症を起こす可能性がある。
 - ④ 不燃性であり、それ自身は燃えないが、加熱されると分解して、腐食性及び／又は毒性のヒュームを発生するおそれがある。
- （成分：酸性フッ化アンモニウム、含有量：〇〇％）

漏洩・飛散したとき

- ① 必ず保護具を着用して風上で作業する。
- ② 地面に飛散している製剤を、スコップ、ほうき等で密閉できるプラスチック容器に回収する。
- ③ 回収後、路面等を消石灰水溶液で中和後、多量の水で洗い流す。ただし、直接河川、用水路には流さない。

周辺火災のとき

- ① 危険でなければ、容器を火災の場所から移動する。
- ② 移動不可能な場合は、容器または周囲に散水し冷却する。

緊急措置

- ① 皮膚に付着した場合は、直ちに衣服や靴を脱がせ、多量の水で洗い流す。
- ② 吸入した場合は、直ちに新鮮な空気のある場所に移し、安静、保温に保ち、呼吸困難な場合や呼吸が停止している場合は、人工呼吸を行う。
（人工呼吸は口対口法を用いてはいけない。逆流防止のバルブがついたポケットマスクや他の適当な医療用呼吸器を用いる。）
- ③ 目に入った場合は、直ちに多量の水で15分以上洗い流す。
- ④ 患者が発生した場合は、最寄りの病院へ運び、医師に暴露物質名を伝える。